



平成31年1月31日発
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

インフルエンザについて

インフルエンザのウイルス1個に感染すると、24時間後には100万個にまで増殖するといわれ、急激に発症することが特徴です。感染してから1～3日後に症状が現れます。突然の高熱、持続する咳、喉の痛み、頭痛、関節痛、倦怠感などが主な症状です。合併症には、気管支炎、肺炎などがありますが、特に注意したいのがインフルエンザ脳症です。

- ①インフルエンザにかかり、1～2日で突然高熱が出て数時間でけいれんする
- ②ボーとして呼びかけに反応しない
- ③目がうつろでグッタリしてウトウトする
- ④何度もけいれんを起こす
- ⑤何度もおう吐する

これらの症状がひとつでもみられたら、直ぐに救急車を呼びましょう。



感染性胃腸炎について

症状は下痢やおう吐です。これらで心配な事は脱水症です。特に小さい子供は、下痢やおう吐で身体の外に水分が出てしまい、あっという間に身体の水分を失います。下痢やおう吐が続き水分がとれない時は、早めに受診するようにしましょう。

脱水を防ぐためには水分を補給することが大切です。最初のごく少量の「ぬるめの白湯」を与え、これで下痢やおう吐がなければ、少し時間を空けながら徐々に量を増やします。多くてもコップ半分(100ml)くらいの量にします。スポーツドリンクの使用や食事の開始などは医師の指示に従いましょう。水分を与えても下痢やおう吐をしなくなったら、消化の良い煮野菜や重湯、おかゆなどで食事を始めましょう(甘い物は下痢をしやすく、油の多い物、揚げ物や柑橘系の果物は消化がよくないので控えましょう)

普段の食事をして、1日下痢やおう吐がなければ登園可能となります。

登園時には、登園届の提出をお願いします。



6日(水) 乳児検診

7日(木) 身体測定

1月の報告

昨年12月に続いて、1月も感染性胃腸炎の発症がみられました。また1月の中旬からは、インフルエンザの発症が報告されていますが、今後も発症する園児が続くことが心配されます。初期症状は風邪と区別がつきにくいので、疑わしい症状がみられたら早めに受診をし、確定診断をうけていただくようお願いします。